

受理年月日	令和3年8月12日	所管委員会	総務財政委員会
番号	3年陳情第22号		
件名	特別定額給付金の再度実施を求める意見書議決について		
陳情者	愛知県安城市百石町二丁目17-6 社会の歪を鋭く追及 政策提言する世直し集団 一輪のバラの会 代表 加藤 克助		
分割送付	なし		
要旨	<p>令和2年4月20日に閣議決定した特別定額給付金は、政府が見えざる敵に対して国民が一致団結して立ち向かおうと実施しました。総務省の去年の定額給付金の統計では、1人10万円で約13兆円と発表されています。また、民間のアンケートでは、消費されたのは3割で、ほかは貯蓄に回されたと答えています。国税局の民間給与実態統計調査では低成長時代を反映し、給与所得者数約5,000万人の給料は過去10年間一定水準にとどまっています。</p> <p>再実施する特別定額給付金は10万円支給の資料に基づき、1人30万円を支給し、費用は約39兆円です。政府は経済対策を行う予定ですが、国民皆一人一人に行き渡らせることが大切と思います。</p> <p>また、国民には約2,000兆円の金融資産があります。政府は長期、無利子、期限付の条件で救国国債を40兆円発行し、消化できないときは日本銀行が直接買い入れれば、国栄えて民減ぶようなことは起きないと思います。</p> <p>よって、以下の事項について福岡市議会が国に対し意見書を提出するよう要求します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度も特別定額給付金を実施すること。 		

令和3年8月9日

福岡市議会議長
伊藤 嘉人

社会の歪を鋭く追及
政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」
代表 加藤 克助
愛知県安城市百石町2丁目17の6
〒446-0044 ☎0566-76-7465



特別定額給付金の再度実施について求める意見書を福岡市議会が政府に提出
に関する陳情書

趣旨

政府は令和2年に特別定額給付金を国民に支給しました。総務省の去年の定額給付金の統計では一人10万円で約13兆円と発表されています。又民間のアンケートでは消費は3割で他貯蓄に回されたと答えていますが、国税局の(民間給与実態統計調査)では低成長時代を反映し、給与所得者数約5000万人の給料は過去10年間一定水準に留まっています。

再実施する特別定額給付金は10万円支給の資料に基づき、一人30万円を支給し、費用は約39兆円です、又政府は経済対策をする予定ですが、国民皆一人一人にいきわたらせる事が大切と思います。

又国民には約2,000兆円の金融資産があります、政府は救国国債を40兆円発行し、条件は長期、無利子、期限付きで発行し消化できない時は、日本銀行が直接買い入れる事、このようなことを実行すれば、国栄えて民滅ぶは起きないと思います。

事項

令和2年4月20日に閣議決定した特別定額給付金は、政府が見えざる敵に対して国民が一致団結して立ち向かおうと実施しました。令和3年度も同じく特別定額給付金の再度実施を求める意見書を福岡市議会は政府に提出して下さい。